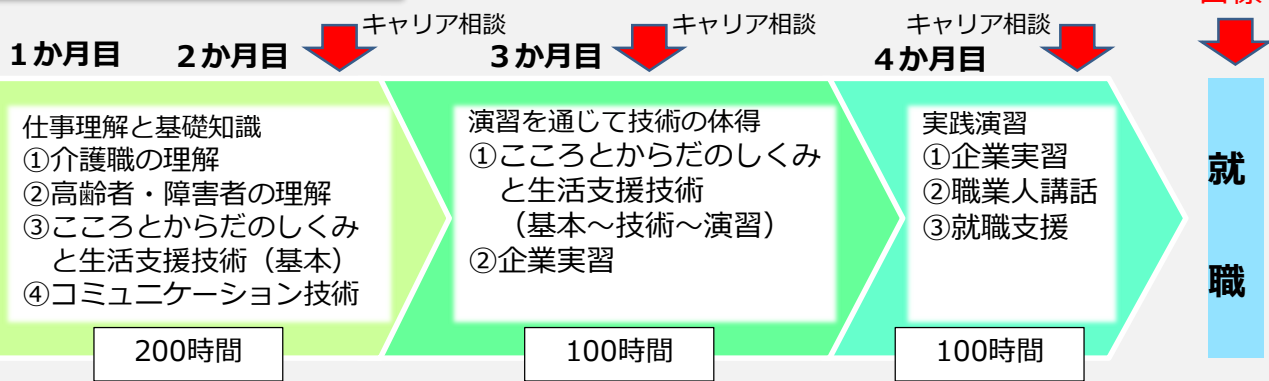


【事例3】 実践コース・介護福祉分野「介護職員初任者研修及びガイドヘルパー科」

基本情報

- ・ 訓練実施機関の属性：介護職員養成研修施設
- ・ 訓練期間 4 か月、週 5 日（月～金）、9：30～16：30
- ・ 定員 15 名、受講者 14 名（うち男性 4 名、女性 10 名）、就職率 91%

主なカリキュラム内容



取得可能な資格の例

- ・ 介護職員初任者研修課程
- ・ 全身性障害者ガイドヘルパー
- ・ 知的障害者ガイドヘルパー
- ・ 同行援護ガイドヘルパー
- ※ 修了要件を満たすことで取得

訓練コースの特徴と工夫点

- ・ ハローワークを通じて入職する者が福祉・介護に関して学ぶためには、まずは、介護職員としての入口となる「介護職員初任者研修課程」の資格が必須となります。しかし、せっかく入った介護分野からの離職者が後をたたないのが実情もあります。この離職要因には様々なものがありますが、当訓練施設では、その要因の中で重要だと思われる「職場でやりがいや魅力が実感できる」ことを重要視しています。
- ・ 高齢者介護・障害者介護などの実際の現場で勤務している様々な職種の講師陣を 20 数名配置し、知識・技術の習得だけで終わらない幅広く実践に沿った訓練内容の構築をおこなっています。
- ・ 企業実習の時間を設けることで、受講者が現場の雰囲気を感じ、自身の技能を向上させることと同時に、進路決定における判断材料に資するよう設定しています。

就職支援の内容

- ・ 職業紹介事業も併設しており、就職指導専任のアドバイザーが修了者の希望や条件等に合わせて丁寧に相談することで、高い就職率を確保しています。
- ・ 高齢者介護の施設だけではなく、障害者施設への就職も視野に入れ、3種類のガイドヘルパーの資格取得ができることも大きな特徴のひとつであり、資格取得をめざす過程で習得した知識等と、取得した「証」があれば、就職する際の大きな武器となり、自ずと就職先の選択肢も広がっていきます。それにより、入校当初は全く考えていなかった障害者施設への就職者も増加しています。

訓練修了生の声

- ・ 最初は訓練を休まずに通えるか、また、人間関係が上手くできるかと心配していたけど、実際に訓練を受講してみると、訓練内容も教え方もすごく良くて、先生方の人間性が伝わってくるようでした。他の受講者ともすごく良い人間関係が築けて、とても嬉しく思っています。
- ・ 介護に関する基礎的な部分が学べて良かったです。また、通信ではなく研修施設に通いながら受講するという点で、いろいろな人たちと出会えました。その中で、いろいろな考え方があるのだなと感じました。とても有益な時間が過ごせました。
- ・ 講師の方々の質の高さ、細やかな指導、教室等施設・設備の環境の良さ、すべてにおいて良かったです。